

● 現在の経営状況*2

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	17.6 p	9.3 p ↑
不動産流通業(住宅地)	Δ 10.0 p	2.1 p ↑
ビル賃貸業	8.0 p	5.9 p ↑

住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 9.3p 改善し 17.6p。20期連続のプラス水準。
 不動産流通業は前回から 2.1p 改善し ▲10.0p。8期連続のマイナス水準。
 ビル賃貸業は前回から 5.9p 改善し 8.0p。15期連続でのプラス水準。

● 3ヶ月後経営状況見通し*3

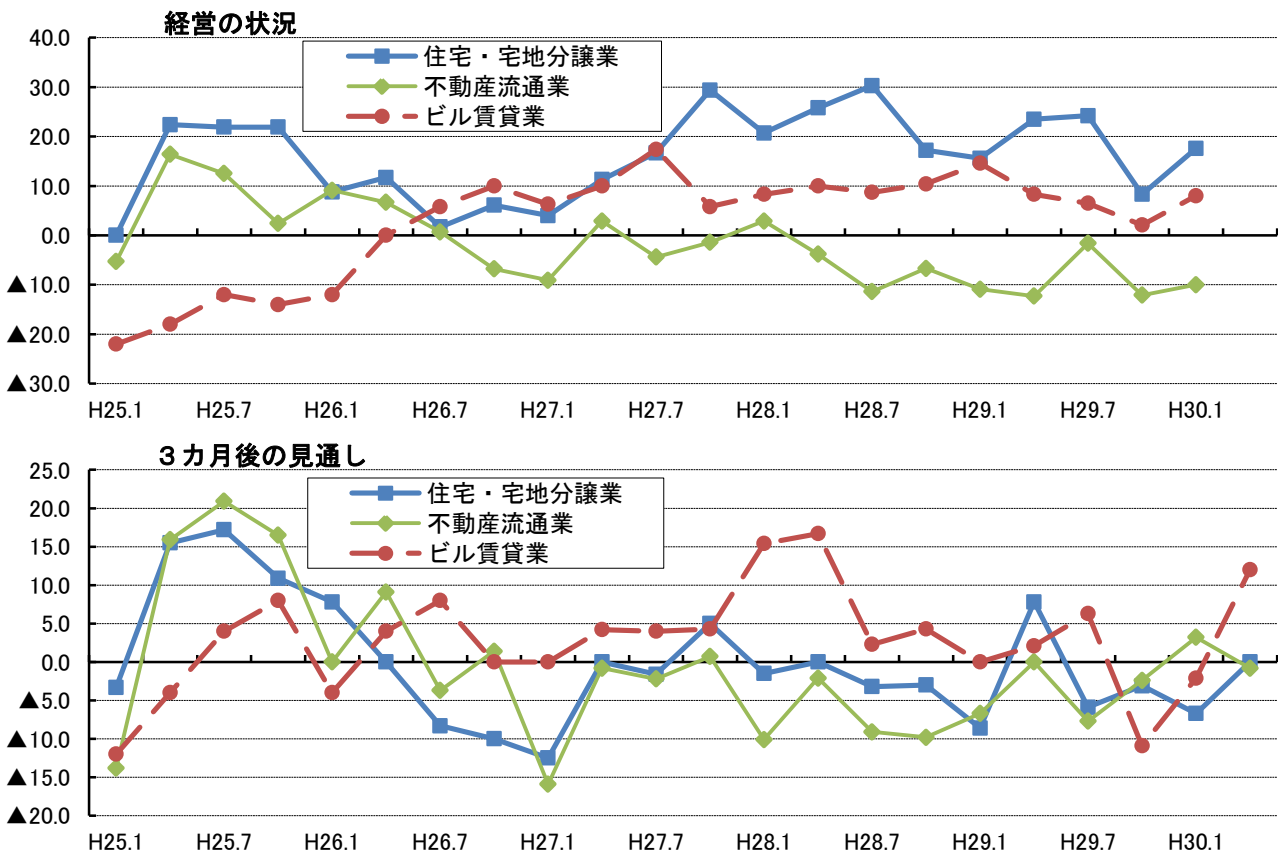
		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	0.0 p	6.7 p ↑
不動産流通業(住宅地)	Δ 0.8 p	Δ 4.0 p ↓
ビル賃貸業	12.0 p	14.1 p ↑

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業およびビル賃貸業で改善、不動産流通業は悪化。住宅・宅地分譲業のマイナス水準は3期で止まった。不動産流通業は2期ぶりにマイナス水準に、ビル賃貸業は3期ぶりにプラス水準に転じた。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況 = $\{(\text{「良い」} \times 2 + \text{「やや良い」}) - (\text{「悪い」} \times 2 + \text{「やや悪い」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$

*3 3ヶ月後の見通し = $\{(\text{「良くなる」} \times 2 + \text{「やや良くなる」}) - (\text{「悪くなる」} \times 2 + \text{「やや悪くなる」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$



[不動産業業況等調査結果\(pdf\)ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」